



2020年11月2日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荻原 豊
(コード番号 4569 東証第1部)
問合せ先 グループ経営企画統轄部 部長 谷藤 功典
電 話 03-3525-4707

業績予想の修正について

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2020年5月12日に公表した2021年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	52,800	2,400	2,600	1,900	33.17
今回修正予想 (B)	47,700	1,500	1,800	2,100	36.98
増減額 (B - A)	-5,100	-900	-800	+200	—
増減率 (%)	-9.7	-37.5	-30.8	+10.5	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期第2四半期)	48,299	783	1,076	834	14.56

2. 業績予想数値の修正理由

第2四半期累計期間における事業環境の変化として、新型コロナウイルス感染が拡大し、受診抑制による医療用医薬品市場の縮小、MR活動の自粛による新薬群の市場浸透の遅れ等が生じました。その結果、新医薬品等（国内）の売り上げが当初予想を下回る見通しとなり、売上高を下方修正いたします。

利益面では、売り上げの減少に伴い売上総利益の減少を見込みます。一方、新型コロナウイルス感染症による活動制限等の影響により販売費及び一般管理費（研究開発費除く）は当初予想を下回る見込みですが、売上減少に伴う売上総利益の減少を吸収することは出来ない見通しとなり、営業利益及び経常利益を下方修正いたします。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、国立研究開発法人科学技術振興機構より借り入れていた長期借入金に対する返済義務の一部免除による債務免除益 約10億円を特別利益として計上する見通しとなり上方修正いたします。

3. その他

2021年3月期の連結業績予想（通期）につきましては、現在見直し中であり、当第2四半期決算発表時（11月5日予定）に開示させていただきます。

以上

補足資料

1. 連結売上高について（第2四半期連結累計期間）

（単位：億円）

	2020年3月期 第2四半期 （実績）	2021年3月期 第2四半期 （当初予想）	2021年3月期 第2四半期 （修正予想）	対前年 増減額	対当初予想 増減額
売上高	483	528	477	-6	-51
新医薬品等（国内）	337	368	328	-9	-40
新医薬品（海外）	4	3	5	+1	+2
後発医薬品	142	156	143	+1	-13

2. 主要製品の売上高について（第2四半期連結累計期間）

（単位：億円）

	2020年3月期 第2四半期 （実績）	2021年3月期 第2四半期 （当初予想）	2021年3月期 第2四半期 （修正予想）	対前年 増減額	対当初予想 増減額
新医薬品等（国内）					
フルティフォーム	67	70	63	-4	-7
デザレックス	0	31	18	+18	-13
ベオーバ（自社販売分）	6	35	37	+31	+2
ラスビック錠	—	14	2	+2	-12
ペンタサ	68	59	63	-5	+4
ウリトス（自社販売分）	30	18	15	-15	-3
ナゾネックス	27	6	6	-21	±0
キプレス（成人製剤）	24	18	17	-7	-1
キプレス（小児製剤）	30	22	18	-12	-4
ムコダイン	28	22	14	-14	-8
ミルトン	11	11	11	±0	±0
後発医薬品					
モンテルカスト錠「KM」※1	54	47	45	-9	-2
モメタゾン点鼻液「杏林」※2	4	9	9	+5	±0
イミダフェナシン錠「杏林」※3	—	4	3	+3	-1

※1 キプレスのオーソライズド・ジェネリック（AG）

※2 ナゾネックス点鼻液のオーソライズド・ジェネリック（AG）

※3 ウリトスのオーソライズド・ジェネリック（AG）

（注）上記予想は本資料発表時、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります